

## Press Release (R3/11/17)

JST-RISTEX/「科学と社会」推進部「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」として  
揖斐郡森林組合において、林業従事者のリアルタイムな位置情報取得・圏外地域とのチャット通信の実証研究を開始しました  
～山間域での通信圏外を解消し、事故発生時の初期対応や生産性向上に向けて～

岐阜大学 Co デザイン研究センターの森部隼嗣准教授は、科学技術振興機構 (JST) の社会技術研究開発センター (RISTEX) 及び「科学と社会」推進部の「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」として揖斐郡森林組合において林業従事者のリアルタイムな位置情報取得・圏外地域とのチャット通信の実証研究を開始しました。

日本の林業労災発生率は、全産業平均の約 10 倍です。林業現場のほとんどは既存の通信ネットワーク (3G/4G) 圏外の山間域 (本プロジェクトの対象地域の岐阜県本巣市の 3G/4G 圏外面積率は約 8 割) で、結果として事故発生時の初期対応や生産性向上が他産業に比べ困難な状況にあります。

本プロジェクトでは、通信圏外を解消する策として、新たな低消費電力・遠距離通信である GEO-WAVE を用いた通信拠点を設置し、岐阜県西部山間部をモデル地域とし、林業などの山林資源利用現場における通信網構築の効果を検証します。

つきましては、実証研究の取材についてよろしく申し上げます。

### 記

日時：2021年11月10日～

場所：岐阜県揖斐郡揖斐川町

実施：揖斐郡森林組合

内容：林業従事者のリアルタイムな位置情報取得・圏外地域とのチャット通信

参考 URL：

[https://www.jst.go.jp/ristex/solve/project/scenario/scenario20\\_moribepj.html](https://www.jst.go.jp/ristex/solve/project/scenario/scenario20_moribepj.html)



参考 URL

#### 【問合せ】

岐阜大学 Co デザイン研究センター 准教授 森部隼嗣

TEL / FAX : 058-293-3442

E-mail [jmoribe@gifu-u.ac.jp](mailto:jmoribe@gifu-u.ac.jp)

【社会課題】

- 人口減少・少子高齢化へ  
⇒ICT導入による効率化
- 日本国土の約4割を占める携帯電話圏外地域  
⇒山間地域ではICTの導入が困難

【林業の課題】

- 厳しい地形条件と低い労働生産性  
⇒ICT導入による効率化
- 労働災害の発生率は他業種と比べて圧倒的に高い  
⇒緊急時の連絡（通信）手段が必要

解決策

山間域での低消費電力・遠距離通信プラットフォームの構築



- 現場とつながる安心と新たな関係の構築
- ICT領域の拡大による新たな価値の創出
- 効率化を図り経営を支える 自営通信インフラ

- 【研究開発】
- ①地域資源調査, ②通信環境調査, ③安全度調査,
  - ④システム試験, ⑤評価

林業分野の安全・安心や生産性向上を図るとともに、  
多様な産業分野においても山林資源活用が促進される  
実現可能なシナリオを描く

SDGs達成のビジョン

<p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p> <p>2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。</p>
---	---	---

本研究の概要



揖斐郡森林組合での事前講習 (11/10)